

平成30年度ひだまりの森保育園自己評価表

A たいへんよい
B よい
C 一部検討を要する
D 改善を要する

平成31年3月公表

項目	内 容	評価				備考
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			・今年度、開園3年目を迎え定着化中。 ・職員会議・フロアー会議で共通認識を図っている。
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。	○				
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			・教具、教材は園児の成長・発達に合わせて必要に応じ、入れ替えるなど柔軟に対応。 ・在園児の環境に合わせ造形、リズム活動を柔軟に実施。 ・保育目標に沿った事例研究を実施、特に振り返り、反省を大切にしている。
	(2) 保育所保育指針に基づく、援助・支援を適切に行っているか。		○			
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。		○			
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	○				
日・時・程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム)は現行でよいか。		○			
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	○				・在籍数に合わせ無理なく実施。 ・行事ごとに保護者アンケート実施。結果をふまえて実施の内容を検討。 ・行事から日常保育の発展につながる工夫を行っている。 ・在園児対象の公開保育を毎月実施。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。		○			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。			○		
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	○				
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○		・フロア担当制、チーム保育を推進。柔軟な体制を組めるように工夫。 ・毎週1回フロア会議(パートも参加)を開催し、現状の子ども達の発達に寄り添い月間指導計画の細部を話し合い、クラス運営を行っている。 ・フロア会議にて看護師からの指導と伝達事項等を伝えている。 ・PDCAサイクルを意識して組織づくりに取り組んでいる。 ・基本的に異年齢保育を行っているが部屋の雰囲気や子どもの成長具合によっては、乳児の保育室内で保育者と幼児の園児が一緒に関わる機会を設けている。 ・尚、個人情報については、家庭ごとの同意書に基づき適切に取扱っている。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○		
		(3) 職員の配置は適材・適所か。		○		
		(4) 係や仕事の分担は適切か。		○		
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○		
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○		
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○		
	クラス経営	(1) 0-1歳と2-5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。	○			
		(2) 異年齢児及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。	○			
		(3) チーム保育を適切に行っているか。		○		
	保健・安全指導	(1) 0-1歳と2-5歳の保健対策は適切に行われているか。	○			
		(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。	○			
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。		○		
		(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。		○		
	情報	(5) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。		○		
研修会・講習会について	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○			・他法人との共同による保育研修を実施。 ・法人研修、行政の研修プログラムに積極的に参加。	
	(2) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。		○			
	(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○			
施設・設備	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○		・連絡アプリによって不審者等の情報を随時発信。	
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。		○			
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。		○			
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。	○			・姉妹園との年長児合同キャンプ、幼児グループでの姉妹園訪問等、単発で終わらず、計画性を持って数回は実施している。 ・保育士同士の交流については、法人内研修の位置付けとし、保育交流を実施している。 ・小学校との交流については、市の基幹システムの一環として園児同行での訪問事業に参加。ただ、日常的に行われてはいない為、再度検討が必要と思われる。 ・開園3年目を迎えているが、地域に対しての連携はまだまだの感があり、今後の検討課題としたい。 そうした中で地元商店会に加入する等の前向きな動きもしており、今後、地域社会との触れあいを積極的に図ってきたい。 ・すべての保護者に対し参加は任意であるが、個人面談を実施。互いに成長を喜び合う取り組みを行った。 ・施設の情報提供に関しては随時連絡アプリシステムにて情報提供し伝え漏れの無い様子を付けている。 ・年2回、保護者対象育児講演会を実施した。
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。	○			
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対しての理解を深め援助についての共通理解を図っているか。		○		
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。		○		
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。			○	
	地域との連携	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。			○	
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。		○		
		(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○	
		(4) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。			○	
	子育て支援の推進	(1) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○		
		(2) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○		
		(3) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○			
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○			
	情報の発信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報発信しているか。	○			
		(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○		
外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。		○		・H30年11月、第1回目の第三者評価受審済。	
	(2) 第三者委員制度を活用しているか。	○				